

令和7年度 第46回山形市民文化賞の受賞者について

令和7年度 第46回山形市民文化賞の受賞者は、次の5名の方々に決定しました。

氏名	活動分野	活動年数
じんば きょうこ 神保 鏡子 様 (祥扇 桜香 様)	舞踏 (新舞踊)	40年以上
功績： 昭和56年に「桜香会」を立ち上げて以来、日本舞踊をベースに古典から間口を広げ、歌謡曲をバックに演じる新舞踊の分野を発信し、介護施設等への訪問などの活動を続け、平成15年山形市芸術文化協会に新舞踊部門が発足するきっかけとなった。新舞踊部門発足後は、隔年で開催する「新舞踊合同公演」の実行委員として活躍している。また、チャリティーショーを主催し慈善活動を行うなど、様々な形で新舞踊の魅力を伝える活動を続け、新舞踊の振興に寄与している。 山形の新舞踊界を牽引し、普及発展に大きく寄与するとともに本市の文化振興・発展に貢献している。		
まるこ えいじ 丸子 英二 様 (丸子 抄山 様)	音楽 (邦楽/尺八 (都山流))	50年以上
功績： 長年にわたり都山流尺八に精励し、平成25年からは月1回勉強会を継続して開催するなど、後進の育成に熱心に取り組んでいる。また、邦楽に親しみ、子どもたちからもその魅力を感じ、興味を持ってもらうため、学校からの要請を受け小学校等で「邦楽教室」を開催するなど、和楽器を次世代へ伝承するべく尽力している。 山形三曲協会の幹事や常任理事、山形市芸術文化協会の理事を歴任し、現在は、都山流尺八山形県支部の幹事や山形音楽振興会理事として活躍し、尺八を通じ、和楽器による伝統文化の魅力を伝える活動を積極的に行い、邦楽の普及に大きく寄与するとともに、本市の文化の振興・発展に貢献している。		
あべ ともこ 阿部 朋子 様 (阿部 玲朋 様)	華道 (龍生派)	40年以上
功績： 昭和58年に龍生派に入門以来華道に精励し、指導者として活動するために必要な龍生派自由花、生花、立華の各教授免許を取得した。長年にわたり後進の指導育成に積極的に取り組んでいる。また、山形市男女共同参画センター「ファーラ」等に年間を通して継続的に飾り花を展示するなど華道の振興・発展に尽力している。 平成31年から、山形県華道文化協会においては常任理事、龍生派山形県支部においては支部長として活躍。支部長に就任後は山形県内の会員をまとめて「龍生派山形県支部いけばな展」を盛大に開催し盛況を博すなど、華道の普及発展に大きく寄与するとともに、本市の文化振興・発展に貢献している。		

はつとり れいこ 服部 玲子 様 (服部 宗玲 様)	茶道 (表千家)	60年以上
功績： 表千家に入門以来、長年にわたり茶道に精励している。定期的に勉強会を主催し、自ら鍛錬するとともに後進の育成に積極的に取り組んでいる。平成23年には功績が評価され、「表千家同門会山形県支部功労者表彰」を受賞している。 また、流派を超えて数多くの茶会に参加し、茶道文化の活性化や流派間の融和に貢献している。清風荘での市民の茶会や宝紅庵での月釜など数多くの茶会を毎年積極的に担当し、茶道の普及発展に大きく寄与するとともに本市の文化振興・発展に貢献している。		
さいとう きみ 斎藤 喜美 様	郷土芸能 <small>やすみいしおいさかもり</small> (休石老酒盛)	40年以上
功績： 昭和58年の休石老酒盛保存会の団体発足時から芸能の習得に励み、40年以上にわたり活動している。平成15年から平成24年までは会長として運営や会員の指導にあたるなど会の発展に尽力し、会長を退いた後も、引き続き会員の指導にあたり、郷土芸能の普及発展や後継者の発掘・育成など、維持存続に寄与している。 また、地区の各種行事における休石老酒盛保存会の上演において中心的な役割を果たすことにより、高瀬地区の地域振興にも尽力するなど、郷土芸能の地域振興のみならず、本市の文化振興・発展に貢献している。		

【参考】 この賞は、本市の文化活動の一層の振興を図るため、長年、その道一筋に精励し、又は伝統を継承し、その功績が顕著である方々を表彰するものです。昭和55年の創設以来、昨年度までに224名の方々が受賞されています。

問い合わせ先
文化スポーツ部文化創造都市課文化企画係
Tel 023-641-1212 内線638